

今日は日吉神社!

筑豊の
素敵な神様
紹介します



日吉神社



日吉神社 神楽の歴史 History

日吉神社の神楽の始まりは、定かではないが明治時代からだろうと考えられています。神楽は一時絶えていた時もあり、第二次世界大戦後の昭和28年に福田氏をはじめ5名の手により再び碓井町神楽座が行われるようになったのです。昭和31年には宮司の跡目を受け継ぐ、跡目相続の式が行われ「綱切り神楽」が奉納されるなど日吉神社では、今も名を昔から神楽を守り続けている人達があります。平成3年に台風の影響で、一時神社拝殿が損壊した事もありましたが県内15ヶ所出張神楽を行うなど継承につとめ平成6年には現宮司の跡目相続の式で綱切り神楽が行われました。この時期は一番の盛り上がりを見せた事もあり以前から小学生に教えてきた子供神楽と共に日吉神社大祓い、お宮日、丑祭、元旦祭などが奉納されています。



誕生 The beginning

日吉神社は嘗て、江戸時代に白井村が分村する前から村の中央にあり鎮守神として鎮座していました。分村後、現在に至るまで、嘉麻市上白井の鎮守としてその姿を残して居るのです。日吉神社は、滋賀県大津市坂本にある山王総本宮日吉大社を勧請し日本各地に建立されている神社の一つで、この社名の神社には山王信仰に基づいて大山咋神と大国主神を祭神とし、猿を神使としています。日吉神社についての歴史は余り残っておらず、創立年月も不明ですが秋月種実などの有名な武将も、幾度となく再建に加わりそれ以降も、郷土白井次郎左衛門が神殿神門に至るまで建立したのです。現在では、お祭りや奉納などの年間行事に加え、地域の住民で大切な神楽も守り続けられています。

【鎮守神】 土地を守護するために祀られた神
【日吉大社】 滋賀県大津市坂本にある山王総本宮日吉大社を勧請して日本各地に建立された神社である。

宮司さんからひとこと♪



日吉神社では昔から神楽やお祭りで賑わいながら地域の安全や豊富を今も祈りしています。

宮司 青柳 正考さん



神社のあれこれ教えます!

教えて御祭神

- 大己貴命 (おほなむち) = 国造りの神・農業神・商業神・医療神
- 国常立命 (クニトコダチノミコト) = 火災・盗難・病気などの災難厄除け
- 正哉吾勝々命 (マサカツアカノミコト) = 勝運・受験・就職・結婚・安産・財運向上
- 国狭槌命 (くにさつちのみこと) = 土の神・田畑の大地を司る神・低い山を司る神
- 伊弉册命 (イザナミノミコト) = 子授安産・火伏せ・防火
- 瓊々杵命 (ニニギノミコト) = 農業の神
- 惶根命 (かしこねのみこと) = 収穫の神

どこにあるの?

住 所 / 〒820-0502 嘉麻市上白井1182
T E L / 0948-62-2275

